

外部アンケート・自己評価をうけての改善方策

1 「深い学びを生み出すための工夫」の具体的な方策

- (1) 深めの発問→発展的な問題への挑戦＝学びのサイクルを生み出す
- (2) 自己分析による学ぶポイントの明確化

2 「主体的に取り組む家庭学習の指導」

- (1) 職員による主体的に取り組む家庭学習のあり方についての討議
 - ・やってみたいと思わせる予習＝(例)時間前クイズ(本時学ぶところから誰かがクイズを考えてくる)
 - ・基礎基本の定着＝(例)ロイロノートにある小泉検定の活用

3 デジタル通信(きずなメール・ロイロノート)で分かりやすく情報提供

最もよく利用するツールは「きずなメール」(外国籍翻訳機能付き)。

「ロイロノート」の使いにくさをマニュアル動画配信にて解消。

○今後の連絡方法の分類

- (1) きずなメール＝緊急のお知らせ(予定変更)・学校だより行事予定・学年通信・PTA事務局のお知らせ
- (2) ロイロノート＝欠席連絡(出欠カード)・動画配信・アンケート調査
- (3) ホームページ＝学校の様子
- (4) 紙で配付＝重要書類、個人情報など

4 【自由記述より】日課の見直し トイレ休憩時間・給食時間確保の検討

- (1) 3分前行動の見直し
- (2) 給食時間 5 分延長の検討

R5年度学校課題

1 新たな不登校を生まない指導と対応の工夫改善、連携を密にした教育相談体制

(1)生徒の声を受容し、傾聴し、相手の立場に寄り添った教育相談

○一人一人に合った居場所づくり

・サードスペース(保健室横学習室)の設置＝学校に来ることを目的とする

・学習室(第2会議室)＝学習すること(リモート授業含む)を目的とする

○一人一人の教育相談の機会の確保

・教育相談年2回(担任との2者懇談)6月、11月

○主任児童委員の定期訪問

・家庭情報

2 意見を表明する機会の保障

(1)学校生活の見直し、集団の形成者と主体的に参画する力

○生徒会活動、委員会活動

・3分前行動→1分前行動

・ルールメイキング

・学校生活の向上

3 キャリア教育 向上心を育むための夢づくり

○キャリア教育を踏まえた系統的な学校行事・総合的な学習

○夢づくりと自分づくり

○不登校生徒の進路指導